



現場住所：香川県高松市某水路
物件名：水路のコンクリート床版補修工事(仮称)
工事期間：2023年3～9月
水路規格：幅4.0m(平均)×深さ1.0～1.2×水路延長61m

補修延長：33m
損傷状況：塩害による被りコンクリートの剥落
及び著しい鉄筋露出
補修工法：断面修復工(吹付工法)
ポリマーセメントモルタル



WEB カタログ

ホームページ

海岸に隣接し塩害の影響が激しい水路において、コンクリート床版の調査・点検・設計を行い、吹付工法による断面修復工の補修工事を採用いただきました。

床版の剥落を防止するため、損傷部分だけを取り除き、塩害による再劣化を抑制する材料を用いて、構造物の長寿命化を図った工法で補修しました。



1 ハツリ状況



2 鉄筋組立状況（エポキシ被覆鉄筋）



3 含浸材塗布（亜硝酸リチウム）



4 ポリマーセメントモルタル吹付状況



5 コテ仕上げ状況



6 表面含浸工（シラン系）